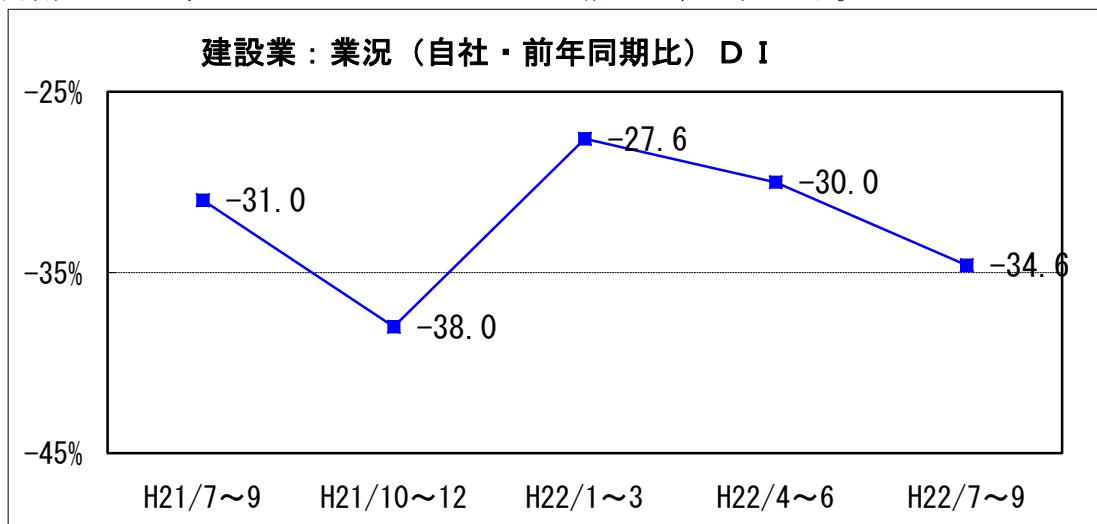


3. 建設業の動向

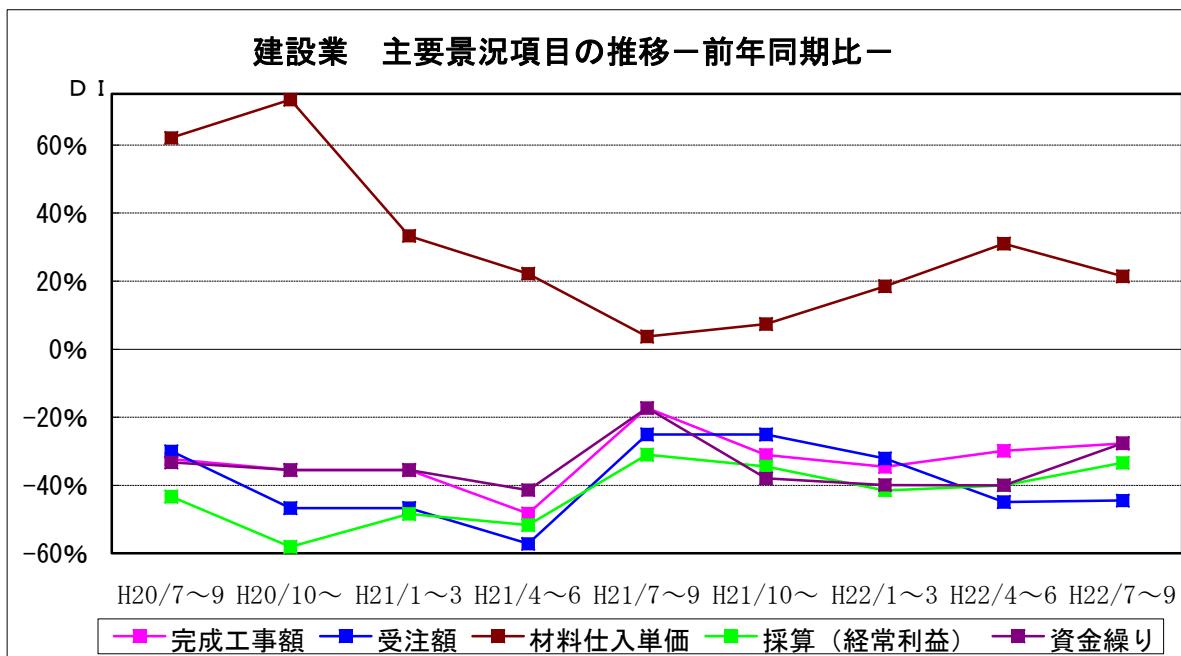
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況D I値は、マイナス34.6。前期のマイナス30.0から4.6ポイント下降、悪化。来期見通しは、マイナス39.3とさらに小幅な悪化の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

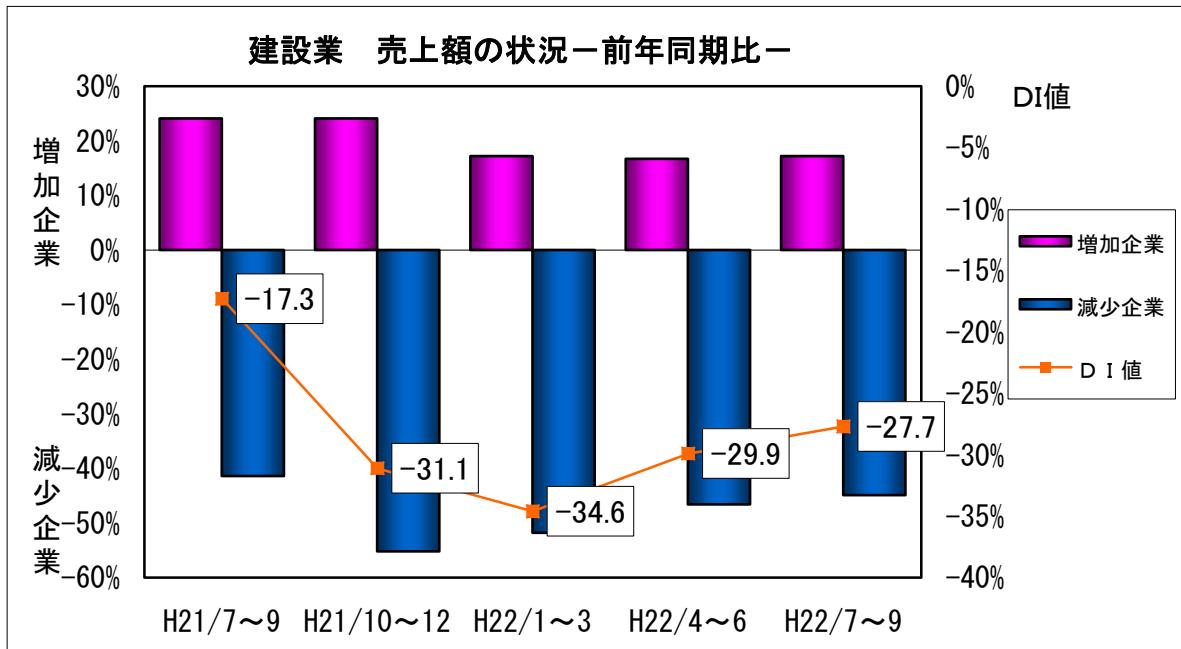
	前々期 (22年1月～3月)	前期(A) (22年4月～6月)	今期(B) (22年7月～9月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲34.6	▲29.9	▲27.7	2.2	▲40.1
受注額	▲32.1	▲44.9	▲44.5	0.4	▲44.9
材料仕入単価	18.5	31.0	21.4	▲9.6	24.1
採算(経常利益)	▲41.5	▲40.0	▲33.4	6.6	▲33.3
資金繰り	▲39.3	▲40.0	▲27.6	12.4	▲24.1



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

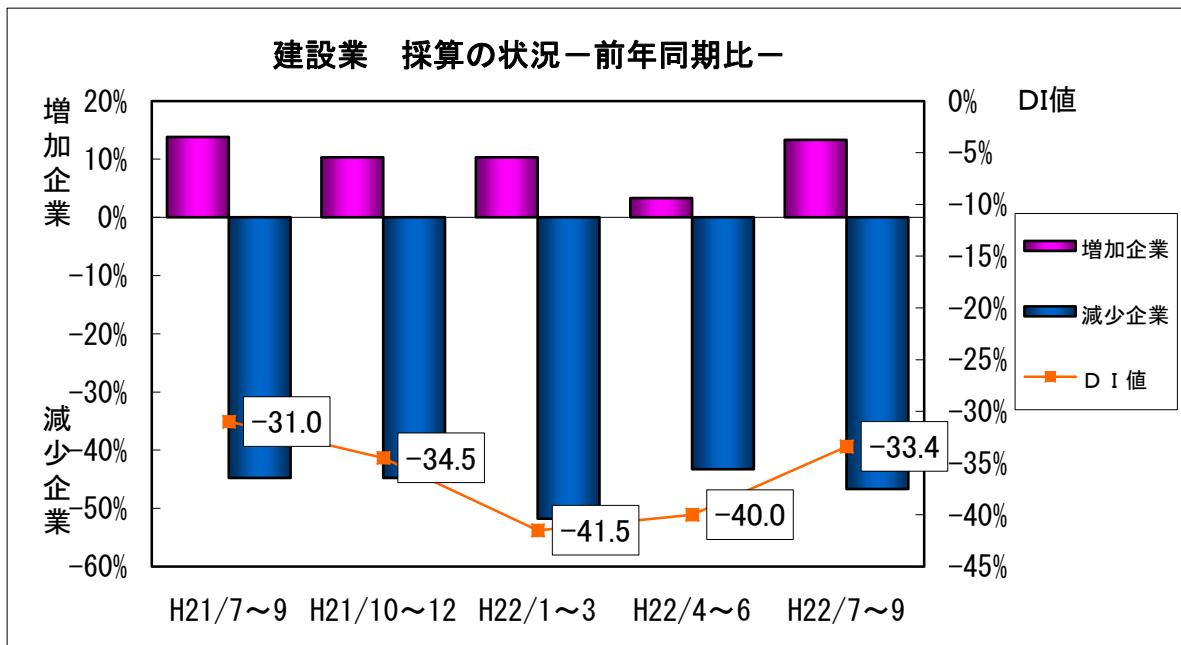
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額DI値は、マイナス27.7。前期のマイナス29.9から2.2ポイント上昇、やや回復。来期はマイナス40.1と大幅な悪化の見込み。



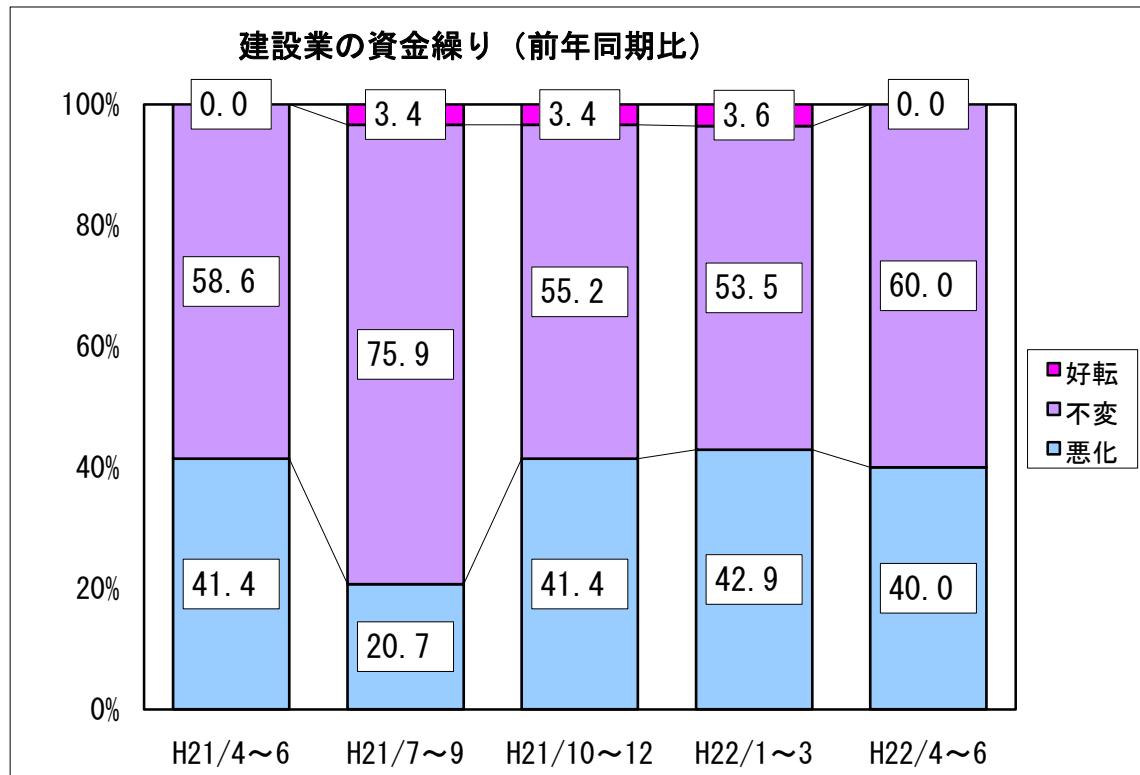
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス33.4。前期のマイナス40.0から6.6ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス33.3とほぼ横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰り D I 値は、マイナス 27.6。前期のマイナス 40.0 から 12.4 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 24.1 とやや回復の見込み。

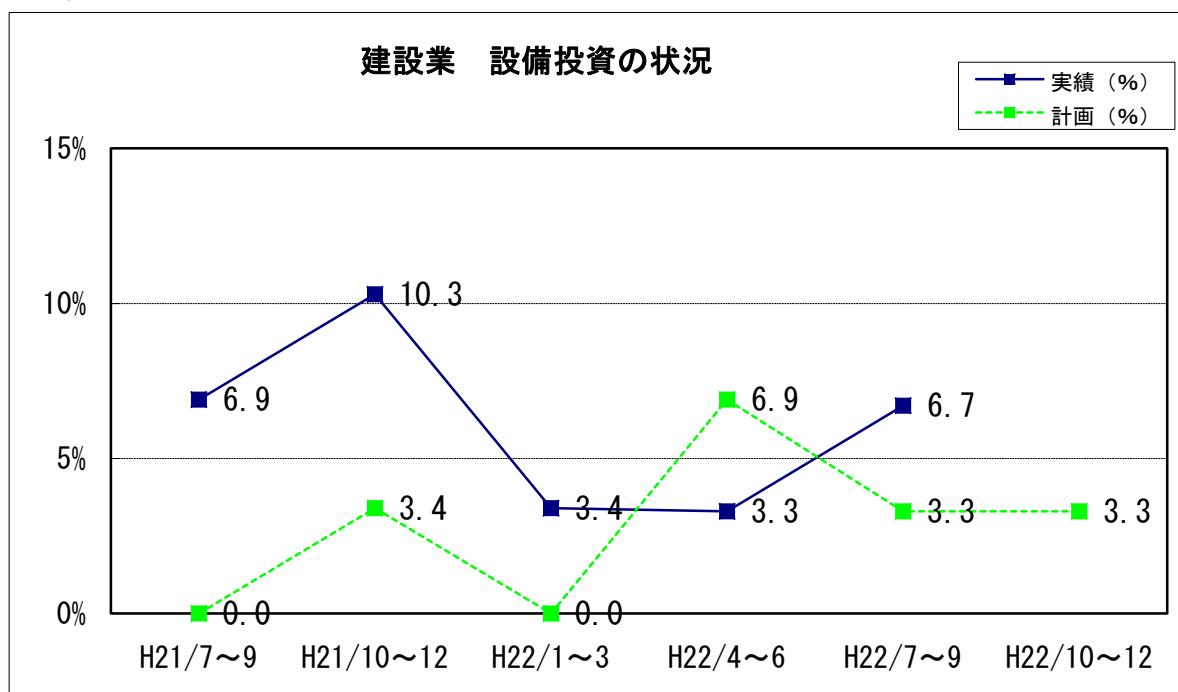


④設備投資

新規設備投資の状況

△	あり	投 資 内 容								な し
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帶 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その 他	
前期実施 (実数) (%)	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	29 96.7
今期実施 (実数) (%)	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	28 93.3
来期計画 (実数) (%)	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 96.7

今期設備投資を実施した企業は 2 社 (6.7%)。前期 (平成 22 年 4~6 月期) の実施企業 1 社 (3.3%) から 1 社増加。来期も 1 社 (3.3%) が、建設機械への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 72.4%→今期 78.6%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 55.2%→今期 46.4%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 34.5%→今期 39.3%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 41.4%→今期 35.7%)

となっている。

